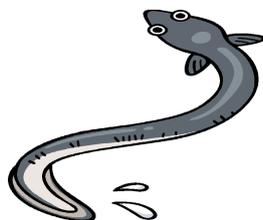




真岡小 HP QRコード



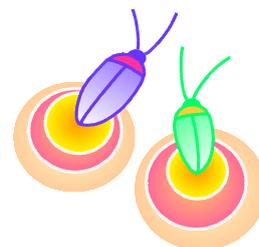
校長室から

土用鰻 店ぢゅう 水を流しをり
阿波野 青畝(あわの せいは)

夏の土用は、毎年8月7日頃の「立秋」前の18日間のことです。この時期の丑(うし)の日には、夏バテ予防で、鰻(うなぎ)など精のつくものを食べる習慣があります。夏の土用に鰻を食べる習慣は、一説によると、江戸時代、平賀源内が鰻屋に「本日丑の日」と貼り紙をさせて宣伝したのが始まりだと言われています。鰻は、ビタミンAやDが豊富で、特にビタミンAは、うなぎのかば焼き一串に大人3日分の栄養が詰まっているそうです。また、梅干しやうどん、豆腐など「う」のつく食べ物もよいとされています。元気の出る食べ物を食べて、この夏の暑さを乗り切りたいですね。

充実した夏休みを

子供たちが楽しみにしていた夏休みが始まります。始まる直前の今が子供たちは、一番ワクワクしているのかもしれませんが。



私事になりますが、先日久しぶりに実家で蛍(ほたる)を見ました。優しい光があちこちに飛び交い、幻想的な風景でした。そういえば、子供の頃は蛍を何匹も捕まえては、寝室に蛍を放し、灯りを消して眺めたものでした。夏になるとその時のことを思い出します。大人になって考えると、虫を家の中に入れるなんて、両親はよく子供の好きにさせてくれたなと思います。そして、その蛍たちは次の日どうなっていたのだろうか…。かわいそうなことをしてしまったなと反省しています。

さらに、子供の頃の夏といえば、地域のお祭りや子供会でのお化け大会・旅行なども楽しみでした。ラジオをもって集合してのラジオ体操、その帰りの虫取りなども思い出に残っています。振り返れば、地域の人や自然とたくさん触れ合うことのできた充実した夏休みでした。

さて、7月20日(土)から、いよいよ44日間の夏休みが始まります。1年生にとっては小学校初めての夏休み、6年生にとっては最後の夏休みですが、誰にとっても、今年の夏は一度きりです。今年は真岡市制70周年、夏祭りも一段と盛大に開催されることでしょう。お祭りなど地域活動に参加したり学区内の施設を探検したり、または自然の中で思いっきり遊んだりたくさん本を読んだり…。子供たちには、夏休みならではの活動を楽しんでほしいです。

最後になりましたが、1学期を終えるにあたり、保護者の皆様そして地域の皆様の学校教育活動への御支援・御協力に深く感謝申し上げます。夏休み中も引き続き、交通事故や水の事故、熱中症の防止など、健康安全に御留意いただきますようお願いいたします。第2学期始業式の日、元気な子供たちに会えることを職員一同楽しみにしております。



